

2020 年度アーツコミッション・ヨコハマ(ACY) 助成プログラム 交付対象者及び交付対象事業が決定しました

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、文化芸術創造都市・横浜の推進に取り組んでいます。横浜市文化観光局創造都市推進課と協働して進めるアーツコミッション・ヨコハマ事業において、2つの助成制度の交付を行います。これにより、横浜から新たな人材が育ち、また先駆的な活動が生まれることで、横浜の魅力が世界へ発信されることを目指します。

この度、2020年度の交付対象者及び交付対象事業を決定しましたので、お知らせします。

次世代を担う若手芸術家を横浜で育成・発信

「U39アーティスト・フェローシップ助成」

このプログラムは、横浜市が文化芸術創造都市の一層の推進を図るべく展開しているクリエイティブ・チルドレンの理念に基づくものです。横浜から世界に文化芸術を発信する次世代のアーティストを育成し、そのキャリアアップを支援するための助成です。

1 交付対象者	6名(うち継続2名/申請数43名)
2 交付総額	5,000,000円

創造性を生かした社会包摂の活動を支援

「クリエイティブ・インクルージョン活動助成」

共生社会の実現に向けて、アーティスト、クリエイターによる創造性を活かした社会包摂を試みる多様なプロジェクト(活動)を支援し、そのことが横浜の新たな魅力となり、世界へ発信されていくことを目指すものです。

1 交付対象事業	5件(うち継続2件/申請数25件)
2 交付総額	3,500,000円

※アーツコミッション・ヨコハマ(ACY)は、(公財)横浜市芸術文化振興財団が横浜市文化観光局の補助金を受けて運営する事業です。(横浜市中区山下町2産業貿易センタービル 1F <http://acy.yafjp.org/>)

※ぜひ当助成プログラムの取材、情報掲載をお願い申し上げます。

裏面あり

お問い合わせ先 *本日は、17:00まで在席しております。

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 広報・ACYグループ tel. 045-221-0212
グループ長 伊東亜紀子
担当:園田泰士(インクルージョン) / 里見有祐(フェローシップ)

【2020 年度 U39 アーティスト・フェローシップ助成: 交付対象者】(50 音順)

氏名	荒木 悠 (アラキ ユウ) (新規)	交付金額	1,000,000 円
プロフィール	<p>美術家・映像作家。1985 年生まれ。異文化間のはざまに着目し、それらを取り巻く事象を再現・再演・再話といった手法で編み直す映像インスタレーションを展開している。これまでの主な個展に「RUSH HOUR」(CAI02、2019 年)、「ニッポンノミヤゲ」(資生堂ギャラリー、2019 年)、「双殻綱: 第一幕」(無人島プロダクション、2017 年)、「複製神殿」(横浜美術館アートギャラリー1、2016 年)など。展覧会の形式にとどまらず、近年では映画祭でも作品が上映されている。</p>		

氏名	市原 佐都子 (イチハラ サトコ) (新規)	交付金額	800,000 円
プロフィール	<p>劇作家・演出家・小説家。1988 年大阪府生まれ福岡県育ち。桜美林大学にて演劇を学び、2011 年より Q 始動。人間の行動や身体にまつわる生理、その違和感を独自の言語センスと身体感覚で捉えた劇作、演出を行う。2011 年、戯曲『虫』にて第 11 回 AAF 戯曲賞受賞。2017 年『毛美子不毛話』が第 61 回岸田國士戯曲賞最終候補となる。2019 年に初の小説集『マミの天使』を出版。同年『バックスの信女 — ホルスタインの雌』をあいとりエンナーレにて初演。同作にて第 64 回岸田國士戯曲賞受賞。公益財団法人セゾン文化財団セゾン・フェロー I アーティスト。</p>		

氏名	高山 玲子 (タカヤマ レイコ) (継続)	交付金額	800,000 円
プロフィール	<p>アーティスト・俳優・体メンテナンス体操主催。俳優として多くの舞台、映像、パフォーマンス作品に出演する。同時に映像作品、各種メディアを用いたパフォーマンス作品の制作を行う。2019 年アート・コレクティブ few phew pur (フュー ヒュー ピュー) を結成。近作は『ゴーストライター』(2018)、『ハイツ高山』(2019)、『祈りの素描』(2020)などを発表。主に境界線(演者/観客・あなた/わたし・あの世/この世)、これらの見えないラインを、可視化・表象することで起こりうる認識のズレなど、人の数だけ答えが違うことをみんなで面白がれることを軸とした制作活動を行なう。</p>		

氏名	中村 大地 (ナカムラ ダイチ) (新規)	交付金額	800,000 円
プロフィール	<p>作家、演出家。1991 年東京都生まれ。東北大学文学部卒。在学中に劇団「屋根裏ハイツ」を旗揚げし、8 年間仙台を拠点に活動。2018 年より東京に在住。人が生き抜くために必要な「役立つ演劇」を志向する。近作『ここは出口ではない』で第 2 回人間座「田畑実戯曲賞」を受賞。「利賀演劇人コンクール 2019」ではチェーホフ『桜の園』を上演し、観客賞受賞、優秀演出家賞一席となる。その他、シアターコモンズ 2020 にてリーディングパフォーマンス『正面に気をつけろ』(作: 松原俊太郎)の演出など、劇団外での演出作品も多数。一般社団法人 NOOK のメンバーとしても活動。</p>		

氏名	ハラサオリ (ハラサオリ) (新規)	交付金額	800,000 円
プロフィール	<p>ダンサー、美術家。自身の身体を用いたパフォーマンス作品の制作を軸に、サイトスペシフィックな空間/時間における即物的身体の内り方を探求している。近年ではダンサーであった実父との生別と死別を扱ったセルフドキュメンタリー作品「Da Dad Dada」を日独の二カ国で上演。また翌年の 2019 年には Dance New Air にて「no room」を発表。東京芸術大学デザイン科修士、ベルリン芸術大学舞踊科ソロパフォーマンス専攻修了。2015 年度吉野石膏美術振興財団在外研修員、2017 年度ポーラ美術振興財団派遣海外研修員。</p>		

氏名	本間 メイ (ホンマ メイ) (継続)	交付金額	800,000 円
プロフィール	<p>アーティスト、Back and Forth Collective メンバー。1985 年東京都生まれ。2011 年チェルシー芸術大学大学院ファインアーツ科修了。インドネシアと日本の歴史的関係のルサーチを基点に、社会・政治的な問題や多国間における関係性を考察する映像作品やインスタレーションを発表。近年は公に語られない女性に関する歴史を主に扱う。 主な個展に 2020 年「Bodies in Overlooked Pain — 見過ごされた痛みにある体 —」黄金町エリアマネジメントセンター、主なグループ展に 2019 年「Instrumenta #2 MACHINE/MAGIC」National Gallery of Indonesia など。</p>		

【2020 年度 クリエイティブ・インクルージョン活動助成: 交付対象事業】 (事業名 50 音順)

事業名	同じ月を見た日 (アイムヒア プロジェクト) (継続)	交付金額	1,000,000 円
主催	渡辺 篤		
事業内容	現代美術家の渡辺氏が孤立感を感じるひきこもり当事者と新たに孤立の境遇に立った全ての人を対象とし、遠隔で同じ月の観察をきっかけとするオンライン交流や展覧会を行い、コロナ禍及びアフターコロナに対してのアートプロジェクトを行う。自主隔離を終えた未来、これまでもこれからも孤立せざるを得ない人々に対し、社会の側が他人の意識を越えてまなざしを向ける機会を創出し、社会に発信していく。		

事業名	高齢者パーソナルプログラム「おうち劇場」 (新規)	交付金額	400,000 円
主催	加藤 道行		
事業内容	舞踏家の加藤氏が、アートに触れる機会が少なくなった横浜市内の高齢者のお宅で、認知症等当事者を対象に、アーティストが訪問し、歌や踊りを行うプログラムを実施する。その体験を通してこころ休まる場をつくるとともに、認知症等があってもアートを通じて豊かに生きることができる在宅での生活の新しいあり方を提案するプロジェクト。		

事業名	寿町で子どもたちと山車まつりをしたいっ 2020 (継続)	交付金額	700,000 円
主催	竹本 真紀		
事業内容	美術家の竹本氏が、寿町で子どもや地域の人々と一緒に山車まつりにあわせてお囃子をつくり、寿町内を練り歩くアートプロジェクト。寿町内やその周辺の地域で活動する団体との関わりを新たに生み出す。準備からまつりまでプロセスを記録し発信するアートプロジェクト。		

事業名	病児者・障がい児者・ご家族・関係者への オンライン・パフォーマンスデリバリー (新規)	交付金額	700,000 円
主催	特定非営利活動法人 心魂プロジェクト (申請代表: 寺田真実)		
事業内容	NPO 法人心魂プロジェクトは舞台に触れられない人に向けてオリジナルミュージカル等様々なパフォーマンスをデリバリーする活動を行っている団体。新型コロナウイルス感染症の流行により今後 1 年以上病室や家から出られない病児者・障がい児者やそのご家族と関係者に向け、オンラインでパフォーマンスをデリバリーする活動を実施する。コミュニケーションを絶やさないことで各家庭が孤独化せず、パフォーマンスを通して心に活力を送り続けて行くプロジェクト。		

事業名	双方向性コミュニケーションアートで多文化の心をつなぐ「やさしさの花」アートリレー (新規)	交付金額	700,000 円
主催	LITTLE ARTISTS LEAGUE (申請代表: 望月実音子)		
事業内容	次世代を担う子どもたちがアートを通じてより多様な表現力とグローバル思考を育むことをミッションとして活動しているアート団体の LITTLE ARTISTS LEAGUE が、新型コロナウイルス感染症の影響で社会から孤立している在留外国人や子ども達を対象に、オンラインを使用し、双方向性コミュニケーションアートで人と人を繋げ、子ども達の心をつないでいくアートプロジェクト。		